

町長メッセージ

「松前さくらまつり」が始まりました。今年も、最北の城下町・松前の桜は、町内外の方々を、美しく艶やかな姿でお迎えできそうです。「きれいな花を見せてくれよ」と心を込めて、手入れをしてこられた関係各位に心から感謝申し上げます（礼）。

昨年の春です。地元の小学生が、「桜が咲いた」とは言わず、「南殿が咲いた」とか「普賢象が咲いた」と、桜の名称を挙げるのに驚きました。これは早咲き・中咲き・遅咲きの多くの種類の桜をもつ松前ならではの文化だと思えます。原口では有志の方々が松前の道路を桜と松でいっぱいにしようと、「桜松街道」づくりに汗を流しておられます。

四月には、佐々木豊町長時代に「染井吉野」を二百本贈呈くださった町村金五・元北海道知事の記念碑を藩屋敷横に移し、町村記念公園が造られました。また、毎年五月一日を「さくらの日」とするとともに、松前の桜を将来に継承するため「さくら基金」もできました。先人が営々と築き上げられた松前の個性的輝きと伝統文化に、私たちの

世代において、何かしらの精神性なるものを注ぎ込み、次の世代に継承していきたいものです。

昨年の台風で、桜も被害を受けましたが、桜を守る方々のご労苦と、桜自身の逞しい生命力によって、今年も日本一の桜を松前から全国に発信できることを町長として大変嬉しく思います。桜は松前町民にとって郷土愛の象徴です。白神から原口まで町民一万一千人の全体パワーでもって、今年も大いに「松前さくらまつり」が盛り上がり、郷土愛が育まれ、笑顔あふれる町となっていくことを日々心に念じております。



松前町長 前田 一男